

富山県不妊専門相談センター

不育症相談のご案内

富山県不妊専門相談センターでは、電話や面接で女性の健康や不妊、不育症に関する相談をお受けしています。また、面接による不育症専門相談（月1回）を行っています。まずは、電話でご相談ください。（不育症専門相談は予約が必要です）

相談方法

電話番号 076-482-3033

一般相談

女性の健康、不妊、不育症一般に関するご相談

相談日・時間 電話相談 面接相談

曜日	火	水	木	金	土
9:00~13:00	📞	😊	📞	😊	📞
14:00~18:00	😊	📞	😊	📞	😊

※祝日・年末年始は休み

相談員

専門相談員

（不妊カウンセラー、フェミニストカウンセラー、助産師など）

不育症専門相談

（平成24年6月～）

開設日時

月1回 15:00～17:00（予約制）

*開設日は電話でお問合せください。
まずは電話でご相談を！

相談員

不育症の専門医等

「不育症」について知りたい方、
「不育症かな？」と思っていても医療機関を
受診することをためらっている方、
以前に病院を受診したけれども不安な方など、
一人で悩まず、ご相談ください。

「不育症」については裏面をご覧ください。



「不育症」って なに？



妊娠はするけれど2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内の赤ちゃんの死亡（早期新生児死亡）によって赤ちゃんが得られない場合をいいます。（厚生労働省科学的研究班定義）

これらの約半数は偶発的な流産で、特別な治療を行わなくても次の妊娠の経過は良好ですが、残りの半数にリスク因子が認められることがあります。

※流産は、全妊娠の10～20%に起こるとされています。ただし、年齢が高くなると流産率は上昇していきます。

※不育症は、習慣流産、反復流産よりも広い意味で用いられています。毎年妊娠される方のうち、全国で数万人は不育症の可能性があります。決してめずらしいものではありません。

「不育症かな？」 と思ったら… どうしたら いい？



2回以上の流産、死産、早期新生児死亡を繰り返した場合は、リスク因子の検査が勧められます。流産の多くは偶発的流産*ですが、2回以上繰り返す場合、リスク因子がある場合があります。まずは産婦人科医師にご相談ください。

「不育症かな？」と思っていても医療機関を受診することをためらっている方、以前に病院を受診していたけれども不安な方など、一人で悩まず、富山県不妊専門相談センターや産婦人科医療機関へご相談ください。

*妊娠初期（妊娠12週未満）の流産の原因の大部分（約80%）は、胎児（受精卵）の偶発的な染色体異常です。

お気軽にまずはご相談ください。

- 原因不明の不育症に対しては、積極的な治療をせず、経過観察で比較的良好な結果が得られています。
- カウンセリング等で十分にお話を聞いた方が、次回の妊娠成功率が高くなるという報告もあります。
- 容易に根拠のはつきりしない治療を受けるのではなく、しっかりと説明や相談を受け、次回の妊娠に対する不安を取り除くことが大切です。

不育症のリスク因子

1. 子宮形態異常
2. 甲状腺異常
3. 夫婦の染色体異常
4. 抗リン脂質抗体陽性
5. 第XII因子欠乏
6. プロテインS欠乏
7. プロテインC欠乏
8. 偶発的流産・リスク因子不明など

6割以上

周囲の人も
理解して、
見守ることが
大事です。



その他不育症に関する情報は…
Fuiku-Labo（厚労省研究班ホームページ フイク-ラボ）
<http://fuiku.jp/>をご覧ください。

このちらしに関するお問合せは

富山県厚生部健康課母子・歯科保健係 ☎076-444-3226 富山県不妊専門相談センター ☎076-482-3033